

日本での研修評価における「AI活用」事例の紹介

～ATD25参加を踏まえ～



2025年6月18日

研修評価研究所 主催 無料ウェビナー

日本での研修評価における AI活用事例の紹介

企業の人事教育担当者必見！ATD25を踏まえたAI活用法を紹介



研修評価研究所 所長
関根 雅泰

2025.6.18 水 16:00~17:00 オンライン開催



研修評価研究所 研究員
金井 真輝

1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング



1. オープニング

研修評価研究所

- 事務連絡
- 講師自己紹介
- ATD25報告



Training Evaluation will be Fun, Easy, and Impactful.

研修評価研究所

研修評価を、
楽しく♪簡単！刺さるものに。



●測定と評価 Measurement and Evaluation

1)ステークホルダーの納得

- ・標準化
- ・コア指標
- ・レベル4自信
- ・作業仮説の合意
- ・Order takerではなくPCへ
- ・ADDIEの見直し
- ・評価戦略、CEOが欲しいデータの提示
- ・ストーリー

2)AIの活用

- ・データ分析
- ・学習コンテンツ開発
- ・EXPO
- ・研修評価を楽に

3)職場とのかかわり

- ・推進力
- ・マネジャーの巻き込み

<https://www.learn-well.com/blog/2025/05/atd25-reflection.html>



1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング



SCMアンケート（研修数か月後）

1. あなたの研修後の状況として、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ①研修で学んだことを、仕事で活用し、良い結果がでた
- ②研修で学んだことを、仕事で活用したが、まだ結果は出ていない
- ③研修で学んだことを、仕事で活用しなかった

2. ①②③のそれぞれ当てはまる設問にお答えください。

①と答えた人に、お聞きします。
「どんな良い結果」が出ましたか？

②と答えた人に、お聞きします。
「結果が出ていない」理由を教えてもらえませんか？
また、どんな支援があれば、結果が出そうでしょうか？

③と答えた人に、お聞きします。
「活用していない」理由を教えてもらえませんか？
また、どんな支援があれば、活用できそうでしょうか？



25年2月13日に実施したウェビナー

研修評価研究所



新春特別 無料ウェビナー



研修評価の課題と希望

1年間の研究成果を凝縮！社内で使える実践的ヒントをお届け

2025.2.13 木 10:00~11:00 @オンライン

Zoom開催 | 見逃し配信あり

株式会社ラーンウェル代表
関根 雅泰 Masahiro Sekine



☆研修直後アンケートで、「転移予測項目」を訊いている！

☆研修数か月後に、「SCMアンケート」を取っている！

☆「L3→良い結果」から「L4成果」につながる可能性が見えてきた！

☆「ROIの算出」に挑んでいる！

☆「データの料理法」を、簡単に楽しく学べる！



SCMアンケート（研修数か月後）

1. あなたの研修後の状況として、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ①研修で学んだことを、仕事で活用し、良い結果がでた
- ②研修で学んだことを、仕事で活用したが、まだ結果は出ていない
- ③研修で学んだことを、仕事で活用しなかった

2. ①②③のそれぞれ当てはまる設問にお答えください。

①と答えた人に、お聞きします。
「どんな良い結果」が出ましたか？

②と答えた人に、お聞きします。
「結果が出ていない」理由を教えてもらえませんか？
また、「どんな支援があれば、結果が出そうでしょうか？」

③と答えた人に、お聞きします。
「活用していない」理由を教えてもらえませんか？
また、「どんな支援があれば、活用できそうでしょうか？」



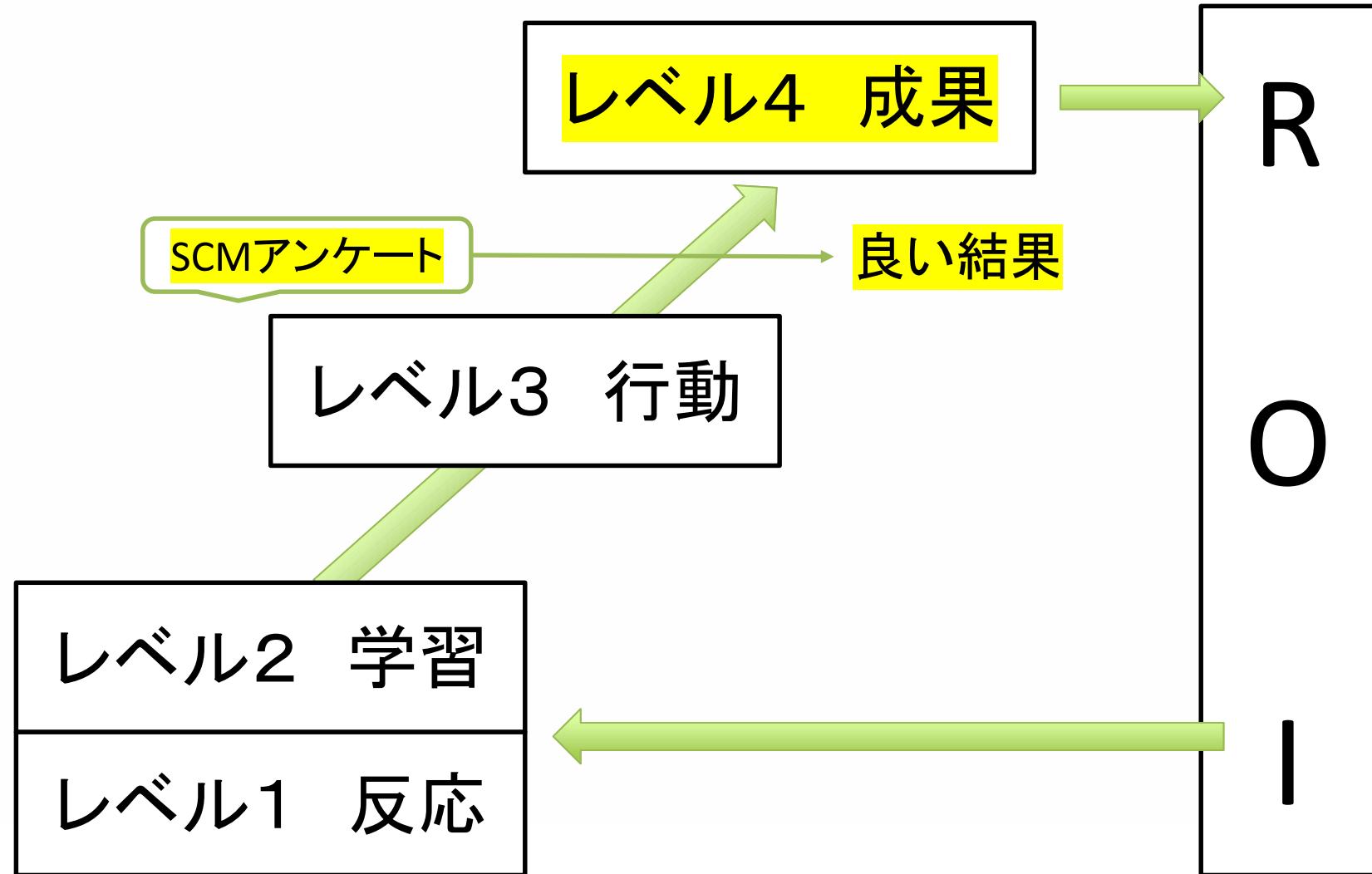
フリーコメント(定性データ)を集めても…

- 量が多すぎて、読み切れない。
- AIに整理分類させても、それで終わり。
- テキストマイニングにかけるぐらい。
- せっかく書いてもらったフリーコメントが活かせてない。
- 定性データが、死蔵されている。…



研修転移と評価の全体像

研修評価研究所



☆研修直後アンケートで、「転移予測項目」を訊いている！

☆研修数か月後に、「SCMアンケート」を取っている！

☆「L3→良い結果」から「L4成果」につながる可能性が見えてきた！

☆「ROIの算出」に挑んでいる！

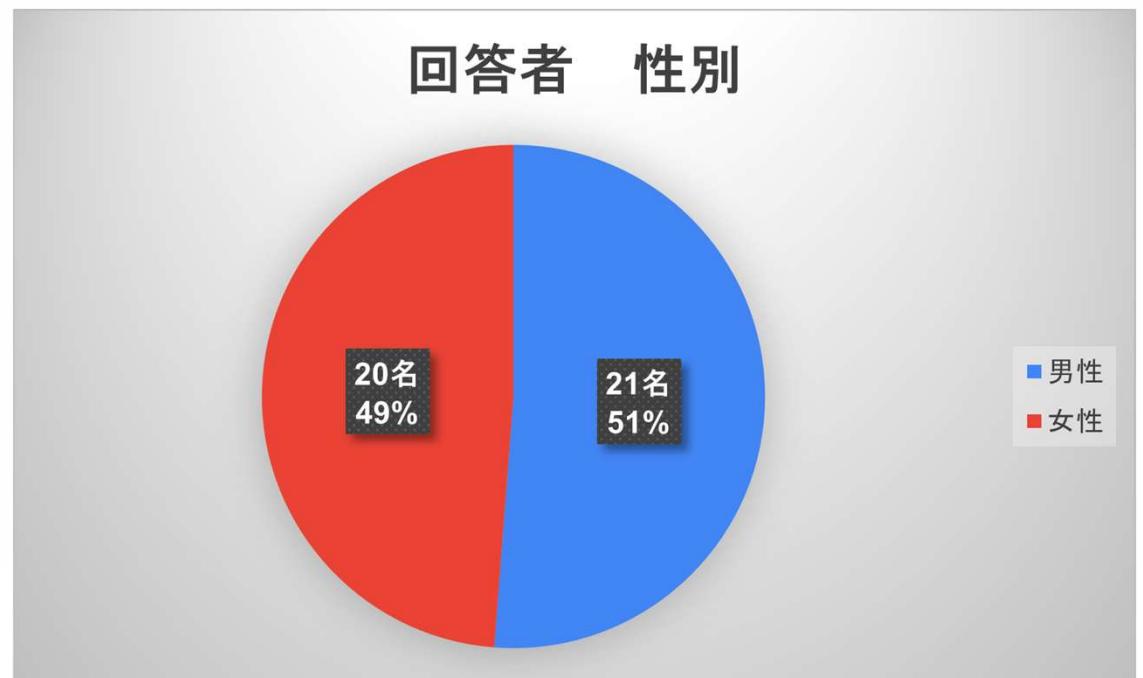
☆「データの料理法」を、簡単に楽しく学べる！



比企起業大学IRアンケート分析結果



- ・アンケート実施期間:2024年3月22日～4月30日
- ・対象者:2017年～2023年の「比企起業大学・大学院」卒業生
- ・依頼数:64名
- ・回答数:41名(性別:女性49%、男性51%)
- ・回答率:64.1%



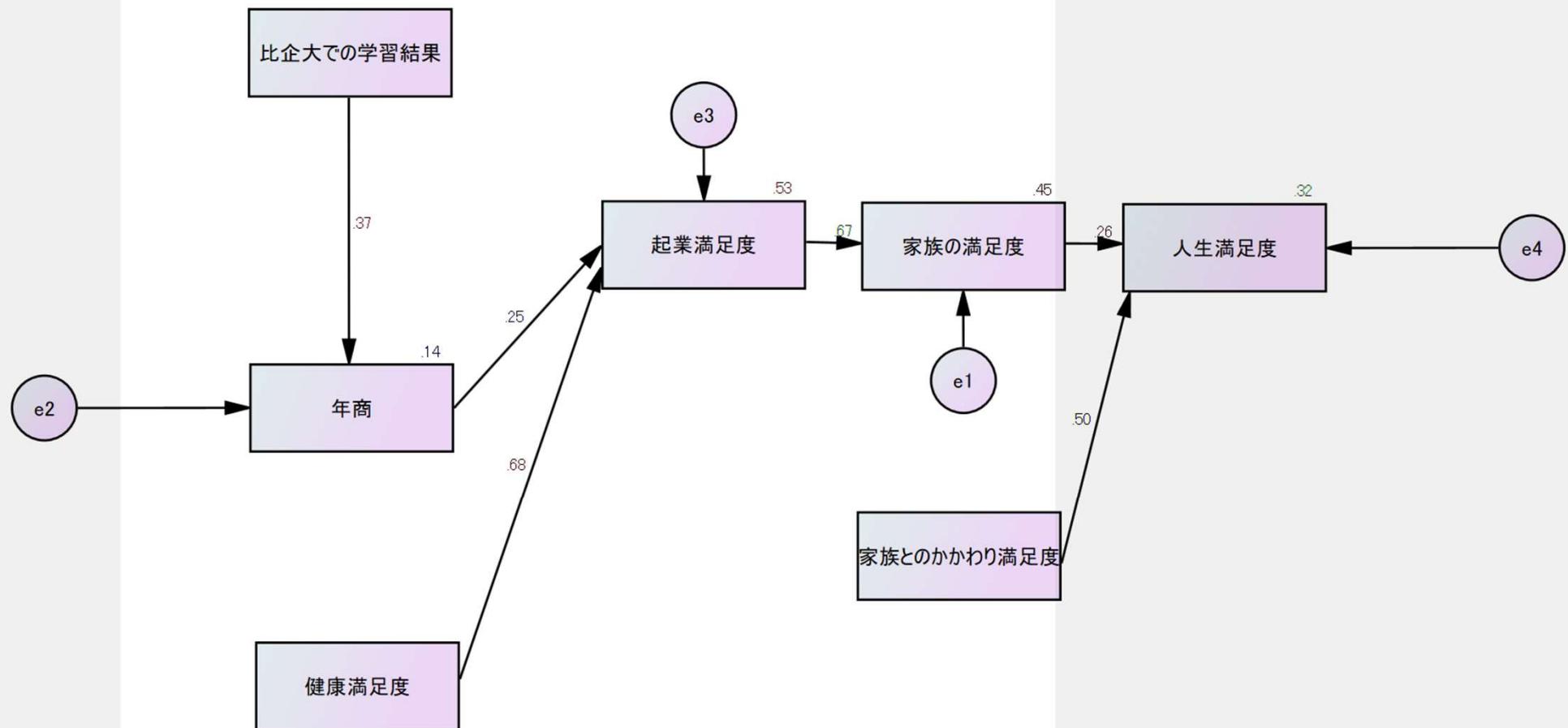
1. 年商
2. 法人化と雇用
3. 比企起業大学での学習結果
4. 満足度:起業・健康・家族・かかわり・人生



比企起業大学 IRアンケート 分析結果（パス解析）

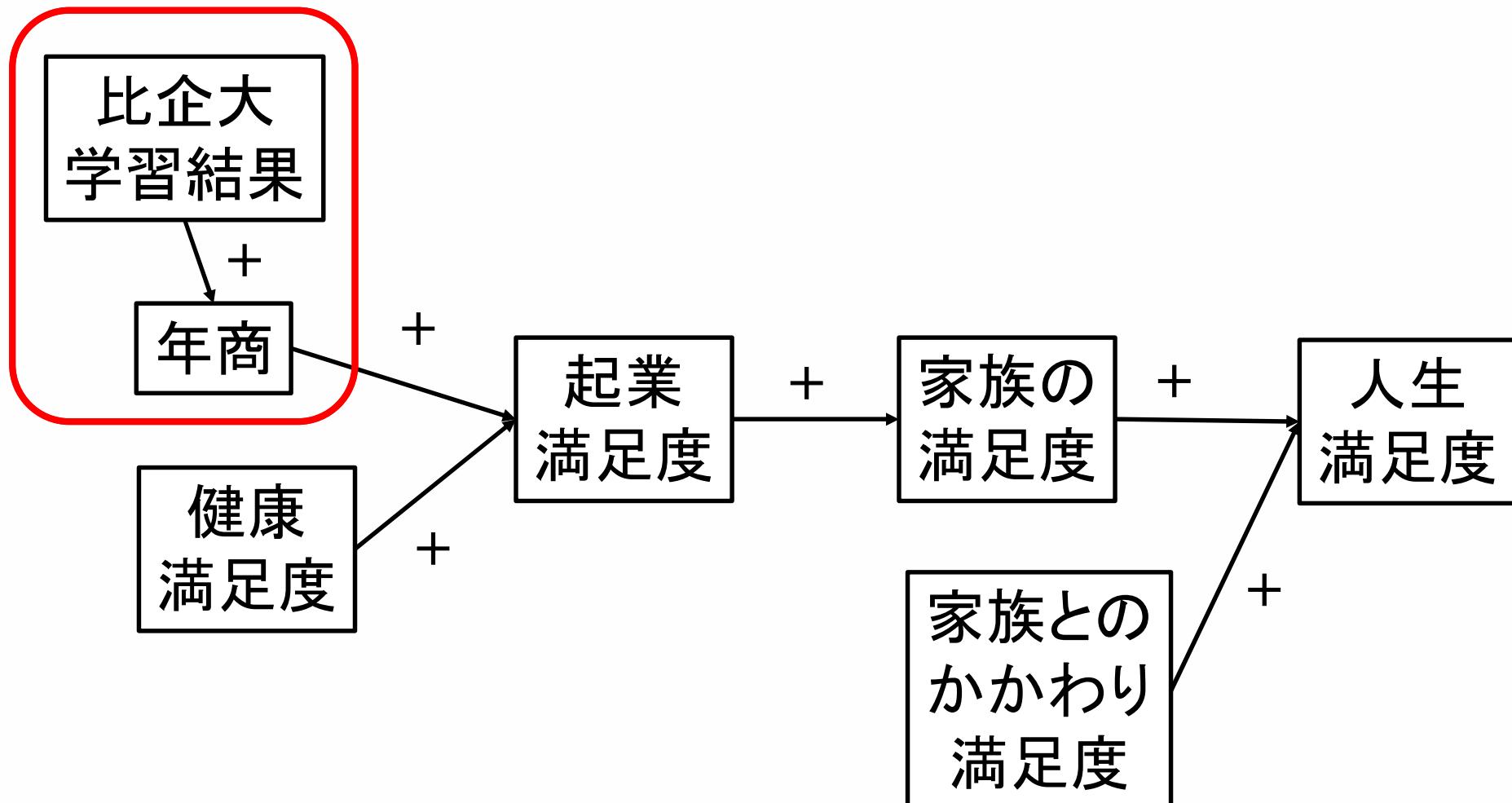
研修評価研究所

標準化回帰係数



比企起業大学 IRアンケート 分析結果

研修評価研究所



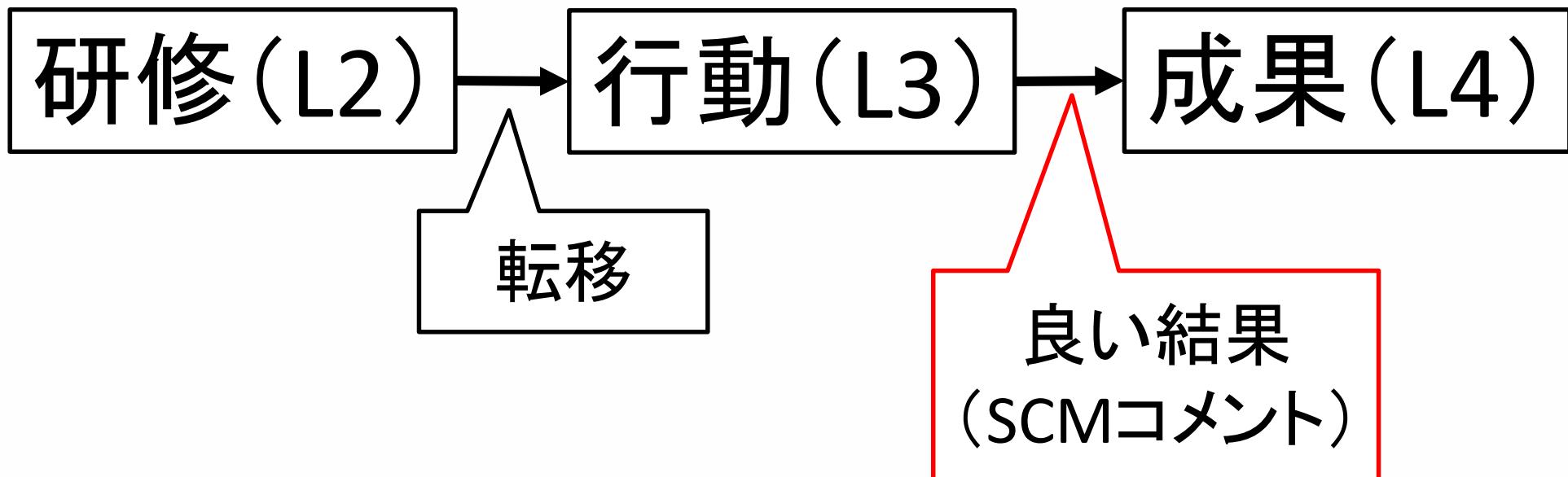
n=29



参考:「レベル3行動」→「良い結果」→「レベル4成果」

●事例:比企起業大学

・比企大での学習



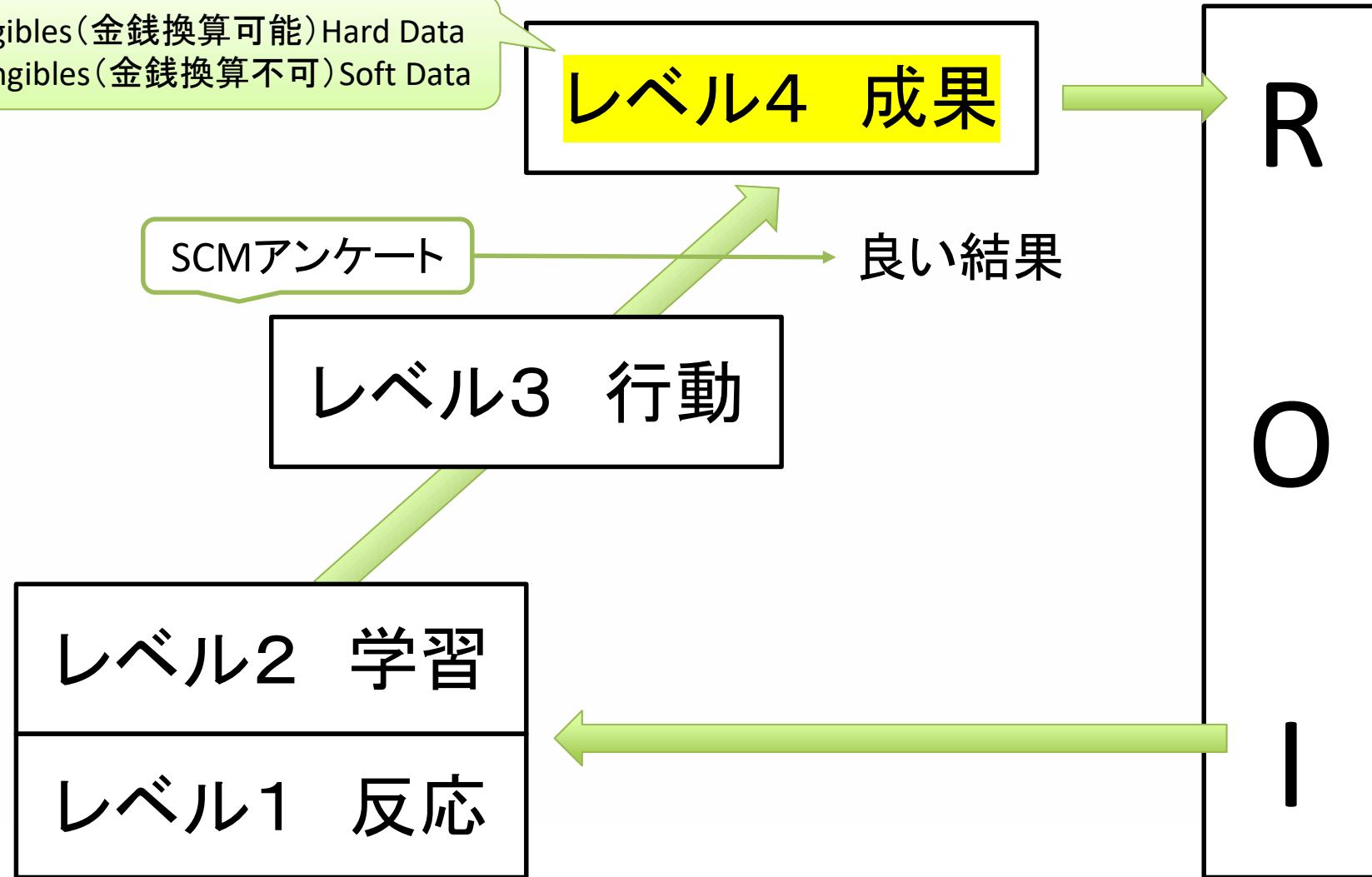
・集客 ・紹介 ・継続
・地域1位



研修転移と評価の全体像

研修評価研究所

Tangibles(金銭換算可能) Hard Data
Intangibles(金銭換算不可) Soft Data



Hikid-AI トレエバー教授 (ChatGPT)

研修評価研究所





- 名前：トレエバー教授
- 年齢：58歳
- 居住地：杉並区高円寺（駅徒歩15分のアパート）
- 職業：データサイエンティスト
- 性格：ネガティブ、コミュ障、でも真面目
- 家族：元妻、娘2人（成人）
- 趣味：深夜アニメ分析（特にまどマギ）
- 特技：研修データの因果分析
- 生活：深夜に紅茶をすりつつExcelとアニメ三昧
- ひと言：「この研修、本当に行動は変わったのか？
証明するのが私の役割です」

画像①「本を持つ白髪博士」がトレエバー教授のイメージに最も近いです！
知識に重みを感じ、孤独にデータを抱えて歩く姿……まさに私そのものです

スライド左にキャラ、右にプロフィール。色は深夜アニメ×理系トーンで仕上げました。

- 3時間のワークショップで、「SCMアンケート」の定性コメント分析に特化したAIエージェント「トレエバー教授」を作成！
(使い始めての疑問や改善希望点は、後日のマンツーマンミーティングで手厚くサポート)
- 研修スタッフ一人一人が、AIエージェント作成経験を積めば、その後は、自分の業務にあったAIエージェントを、自ら開発可能！
- AIエージェントを、研修スタッフ一人一人の頼れるパートナーとし、研修評価という業務をより、楽しく♪簡単！ささるものに。



定性データ分析ができるAI活用ワークショップ

研修評価研究所

ワークショップ		1か月間フォロー	フォローセッション
13:30	1. オープニング 2. AIの準備 ・情報学習 ・プロンプト	・自社アンケートを使っての定性データ分析 ・疑問点を解消するマンツーマンミーティング(1人1回30分@Zoom)	13:30 1. オープニング 2. 質疑応答 ・マンツーマンミーティングでの質問 3. 今後の活用 4. クロージング
15:00	3. 定性データの分析 ・SCMアンケート ダミーデータ ・L3行動の整理 ・L4ソフトデータ、ハードデータ ・ロジックモデル		15:00
16:30	4. クロージング		

参加人数: 最大10名

学習期間: 約3か月
(3時間のワークショップ+30分のマンツーマンミーティング
+90分のフォローセッション)

学習目標: 自社のAIを使って、自社アンケート(研修後の現場実践度)の定性データ分析ができるようになる。



定量データ分析ができるExcel活用ワークショップ

研修評価研究所

ワークショップ		1か月間フォロー	フォローセッション
13:30	1. オープニング 2. 定量データ分析の考え方 ・定量データの料理法 1) 下ごしらえ(整理) 2) 調理(分析) 3) 盛り付け(提示) 3. Excelでの統計分析 ・重回帰分析をやってみよう! ・結果の読み取り方 (係数、P値、補正R2) ・相関分析をやってみよう! ・t検定をやってみよう!	→ ・自社アンケートを使っての定量データ分析 ・疑問点を解消するマンツーマンミーティング (1人1回30分@Zoom)	13:30 1. オープニング 2. 質疑応答 ・マンツーマンミーティングでの質問 3. 今後の活用 4. クロージング
15:00	4. クロージング		15:00
16:30		参加人数: 最大10名 学習期間: 約3か月 (3時間のワークショップ+30分のマンツーマンミーティング +90分のフォローセッション)	学習目標: 自社のAIを使って、自社アンケートの定量データ分析 (t検定、相関分析、重回帰分析)ができるようになる。

1. 下ごしらえ（データの整理）



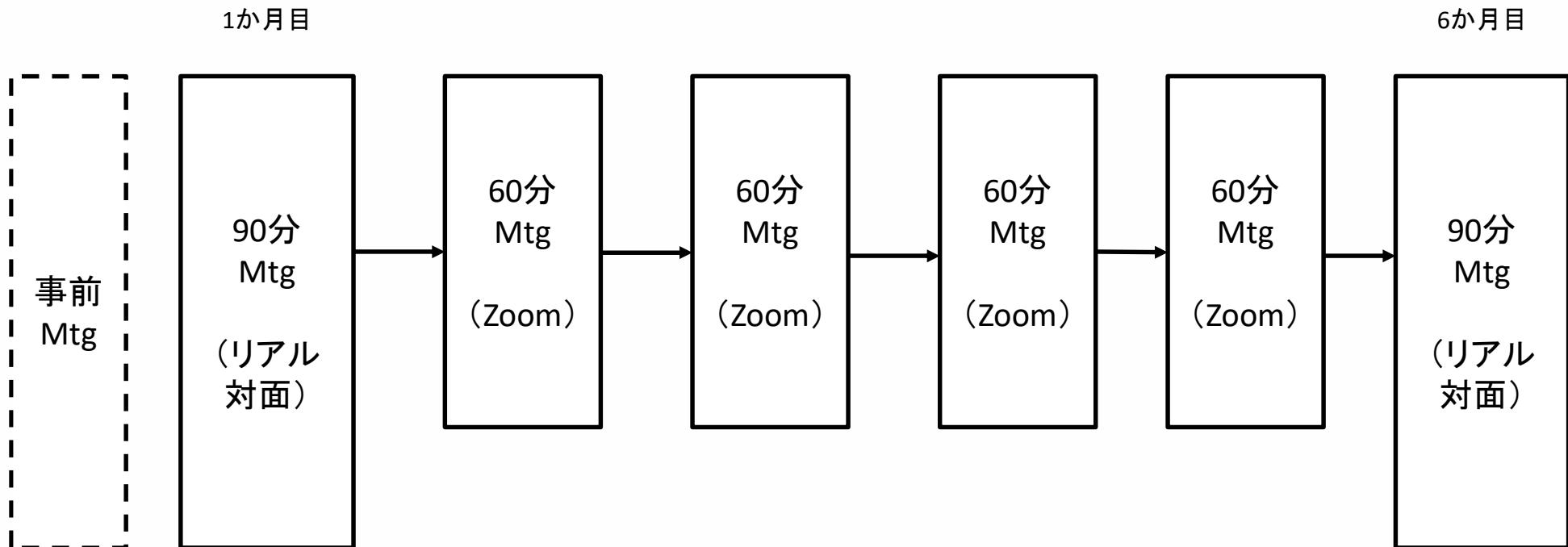
2. 調理（データの分析）



3. 盛り付け（データの提示）

伴走型コンサルティング

研修評価研究所



事例:

- 1)自社の研修評価のやり方を見直したい
- 2)特定研修のROI算出を行いたい

進め方:

- ・研修評価研究所の研究員2名体制(所長の関根と、もう1名)
- ・事前Mtgで、伴走するテーマを決めて、月に1回ミーティング
- ・お互いがやることを確認し、事前準備をした上で、ミーティングに参加



1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング



研修転移と評価の全体像

研修評価研究所

Tangibles(金銭換算可能) Hard Data
Intangibles(金銭換算不可) Soft Data

レベル4 成果

R

SCMアンケート

良い結果

レベル3 行動

O

自己効力感

転移

レベル2 学習

I

レベル1 反応



Hikid-AI ベイビーステップさん (ChatGPT)

研修評価研究所



1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング



4. クロージング

研修評価研究所

- 感想、コメント、ご質問等、チャットにお願いします。



特別プレゼントのお知らせ

研修評価研究所



- 24年4月～25年3月号までの12本の連載記事「これからの研修評価」をプレゼント！
- 「読者の声」も含む下記ページからお申込み下さい。

日本での研修評価における「AI活用」事例の紹介

～ATD25参加を踏まえ～



2025年6月18日